

矢崎美盛 （幼少） 美學者、文學博士。明治二十八年八月十一日山梨縣生れ、昭和二十八年四月七日歿（八九五―一九三三）。大正八年東京帝國大學文科大學哲学科卒。歐洲留學後、法政大學、九州帝大各教授を経、昭和二十二年東京大学教授。

著書「得能博士選履記念 哲學論文集」（田邊重二共編、昭和二年二月十五日岩波書店）、「河野與一共編、昭和二年二月十五日岩波書店」

「大思想文庫」、再刊・二十二年七月五日岩波書店、「學生と藝術」

（合著・河合榮治郎編、昭和十五年十一月二十一日日本評論社）、「樣式の美學」（昭和十九年五月十日創元社）、「唯物論史」（昭和二十

二年七月二十日、再刊・二十四年十一月十日齊藤書店）、「少年美術館」全十二卷（兒島喜久雄共編、昭和二十五年十月二十五日一二十七年四月十五日岩波書店）、「藝術學一様式の美學」（昭和二十六年十

月一日弘文堂）、「少年美術館・續篇」全八卷（安井曾太郎共編、昭和二十七年八月二十五日一二十八年七月八日岩波書店）、「繪畫の見

かた」（中村研一共著、昭和二十八年十一月、二十日岩波書店、「岩波新書」）、「コラージュとリヤ」マリアの美術（昭和二十八年七月）、「十一日岩波書店）、「少年美術館（西洋美術のなごり）」（兒島喜久

安井曾太郎共編、昭和二十四年七月一日一二十日岩波書店）等。